令和５年７月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　　令和５年６月１９日（月）
２．開 催 日 時　　令和５年７月１９日（水）　１５時００分～１７時００分
３．開 催 場 所　　駐健保会館　４Ｆ　中会議室　［東京都港区芝３－４１－８］
４．理 事 総 数　　２３人
５．監 事 総 数　　３人
６．出席理事数　　１６人（本人出席１６人）
７．出席監事数　　３人（本人出席　３人）
８．出席理事の氏名
　嶋崎 利行、曽根 光彰、南　 直樹、玉木 寛之、安室 篤志、田村 大輔、池田 隆久、宗村 進之介、上島　 健、川崎 一郎、富居 博治、横山 聡洋、竹内 博次、秦　 研二、平井 英次、川村 道夫
９．出席監事の氏名
　熊木　 宏、近藤 恭二、山口 直延
１０．出席組合員の氏名
　出席組合員はいない
１１．議長の氏名
　嶋崎 利行
１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
　該当する理事はいない
１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）
　定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、嶋崎理事長が議長となり開会を宣した。
　協議に先立ち、６月１０日に急逝された元理事長の故大屋和雄氏の冥福を祈り、黙祷を捧げた。

第１号議案　賛助会員の脱退について

　嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、６月３０日での賛助会員の脱退について報告があった。

　　株式会社昌平　代表取締役　神田　 潮

　嶋崎議長は、賛助会員の脱退について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　賛助会員の加入について

　嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、加入申込みのあった新規加入賛助会員について資料に基づき、セラミックコーティングに特化して耐久性の高いコーティング技術を持ち、レースや航空産業で活躍されている企業で６月下旬に玉木副理事長と組合の説明に行ったことの報告があった。

玉木副理事長から、親会社のニコル BMW から派生した企業で、過去に親会社と試作品の取引があったことから、同行したこととレース関係から工業関係にも販路を広げたいということから加入に至ったことの説明があった。

賛助会員　ニコ・レーシング株式会社　　加入年月日：令和５年８月１日
代表取締役　クラウス・ハインリッヒ・レーレッケ
〒144-0034 東京都大田区西糀谷３丁目８番１０号
TEL：03-6423-2130、FAX：03-6423-2132
資 本 金　2,000 万円、常時雇用従業　4 名
事業内容　英国 AP Racing 社 日本総代理店
英国 AN Motorsport 社 日本総代理店
英国 Zircotec 社 日本総代理店
豪州 DAVES,GRAIG 社 日本代理店

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく加入について承認された。

第３号議案　令和５年度東京都中小企業団体中央会会長表彰候補者推薦について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事は、東京都中央会表彰規程の推薦基準を朗読したのち、この要件に該当する候補者の経歴概要を説明した。

審議の結果、嶋崎議長より下記の組合功労者６人を推薦することを議場に諮ったところ、全員一致で可決決定した。

組合功労者　６名　　曽根 光彰、田村 大輔、山田　毅、
横山 聡洋、後藤 章洋、藤田 亮則

第４号議案　第２８回熱処理国際会議（IFHTSE２０２３）募金協力について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、（一社）日本熱処理技術協会から（一社）日本金属熱処理工業会に２５０万円の募金協力の依頼があり、東部、中部、西部の３組合で８３万円ずつの協力要請があり、正副理事長で検討し、前回の２００８年の神戸大会と同様に組合員には２万円の協力をお願いし、理事・監事に３万円、正副理事長に５万円のご協力をお願いすることになった経緯について説明があった。

そこで、６月に組合員に協力の意向確認を行った結果、既に寄附（募金）を行っている組合員等を除く７４社から１７７万円のご協力をいただける見込みになったことの報告があった。

募金協力については、８月１日の賦課金の請求と一緒にご案内し、８月中に振込をお願いし、９月に独立行政法人国際観光振興機構に組合から一括して寄附を行いたいことと、その後、独立行政法人国際観光振興機構から組合員各社に課税優遇措置を受けるのに必要な領収書が送られる流れになることの説明があった。また組合で一括に寄附を行う際に一覧表を添付する必要があり、その情報についても募金協力のお願いの際に提出していただくようにしたいと説明があった。

嶋崎議長から、募金について無理のない範囲で協力して欲しい旨述べられた。（一社）日本熱処理技術協会とは、今まで連携して来ており、（一社）日本金属熱処理工業会から理事も４名出ていることもあり、協力して行きたいと述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第５号議案　（一社）日本金属熱処理工業会：外国人技能実習制度について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、移行対象職種認定までの軌跡（４回に亘る専門家会議を経て、厚生労働省の認定申請）及び認定後の評価試験実施機関としての組織編制（評価委員会、試験委員会の設置、試験監督者の２０名の人選、工業会ホームページでの公表準備等）について説明があった。

特に試験監督者の人選については、東日本エリアをカバーできるように選ばなければいけないことと理事・監事企業には派遣の協力をお願いしたいことの説明があった。また今月５日開催の技術・品質合同委員会の際に各委員に就任をお願いしたことも報告があった。

横山理事から、試験監督者の教育についてはオンラインで行うことになっていることの説明があった。

嶋崎議長から、外国人技能実習制度については、見直しの予定があるが、準備は行って行き、形が変わった場合はそれに柔軟に対応して行くことになる旨、説明があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、外国人技能実習制度について全員異議なく承認された。

第６号議案　インボイス制度について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき説明があった。主な内容については、下記の通り。

①組合が現状の免税事業者の場合、１０月以降組合からの請求に対して組合員が消費税を控除できない。組合の事務作業は、これまで通りで消費税の納付も不要。

②組合が課税事業者となった場合、組合員は影響なし。組合の事務作業が増え、消費税の納付が必要。還付の可能性あり。

③組合員については、消費税の経過措置がある。令和５年１０月～令和８年９月までの３年間は、８０％控除可能。令和８年１０月～令和１１年９月までの３年間は、５０％控除可能。令和１１年１０月以降は、控除不可。

④講習会や新年賀詞交歓会等の参加費の対応策については、参加申込書をインボイスに出来るように６要件を揃えておく。

６要件：①名称及び登録番号、②取引年月日、③取引内容、④税率ごとに区分して合計した対価の額及び適用税率、⑤消費税額等、⑥交付を受ける事業者の名称）

⑤免税事業者からの仕入れに対する経過措置の対象について

⑥免税事業者に支払う交際費の判定について

次に会計事務所に相談したところ、金属熱処理という専門的な団体で、対象になるのが講習会の受講料や新年賀詞交歓会の懇親会費くらいなので、免税事業者を理由に講習会等の参加者が著しく減少することも考えにくいことと経過措置もあるので、即時に組合員の負担増にはならないと予想されると意見をいただいたので、事務局としては、免税事業者のままで行きたいと説明があった。

嶋崎議長から、賦課金の取扱いついて質問があり、事務局から課税仕入れの対象外となっているので、組合員も対象外として経費処理を行っていると考えられると説明があった。

上島理事から、賦課金は対象外だが、講習会の受講料やホームページの広告料については、課税対象になるので、各社で対応した処理を行うことになるのかと質問があり、安室専務理事からその通りです。

嶋崎議長から、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第７号議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、６月２９日に開催された令和５年度第１回青年部会について、オブザーバーとして関東経済産業局の麻生課長に参加いただいたことと内容について議事録に基づき説明があった。

主な内容については以下の通り。

①関東経済産業局から「電気自動車に関する各種動向」についての情報提供［国内自動車産業の状況、カーボンニュートラルに向けた選択肢、e-fuelを使用する内燃機関車、世界・日本のEV販売台数、日系自動車メーカーの電動化計画等］、②令和５年度活動計画について［５０才前後のメンバーの多くは、忙しくて目の前の仕事に追われてしまっている。「次世代が生き残るために、今やるべきことを見つける。」という方針で４つの柱（ア．講演会・セミナーの開催、イ．熱処理業界のPR、ウ．関東経済産業局との連携、エ．メンバーからの提案）に取組む。業界のPRについては、昨年度に引き続き東京都中小企業団体中央会主催の「組合まつり in TOKYO２０２３」［１１月８日（水）、９（木）］に出展することについて理事会の承認をお願いしたい。］

横山副部会長から、西部組合の魅力向上委員会で行っている出前講座については、前部会長の田村理事から魅力向上委員会担当の隅谷副理事長に連絡をし、情報交換を行っていることの報告があり、全国材料技術教育研究会の会員高校が全国に７校あり、青森県と岩手県にあることも報告があった。

嶋崎議長から、青年部会の活動はこれからの組合に必要な取組みになるので、後押しして行きたい旨述べられた。

嶋崎議長から、組合まつりへの参加も含めて議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第８号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、６月１６日に開催された今年度第１回総務委員会について議事録に基づき、報告があった。主な内容としては、①令和５年度事業計画について（ア．SDGs に関すること、イ．カーボンニュートラル関すること、ウ．高齢者や外国人材を含むダイバーシティ採用の雇用問題、エ．組合 HP の更新）、②組合 HP の更新（総会終了に伴う組合概要等の更新、１年間のアクセス数の分析・確認、動画制作及び情報発信）、③（一社）日本金属熱処理工業会の外国人技能実習制度の進捗状況について

熊木委員長（監事）から、SDGs のセミナーについては、次回までに委員に内容について提案をお願いしていることと今年度はカーボンニュートラルについて検討して行きたいと説明があった。

玉木副理事長から、７月４日開催の（一社）日本金属熱処理工業会の総務委員会について報告があった。外国人技能実習制度の評価委員会を兼任することから、受検者の合否判定の最終決定を行うために正確に迅速に行う方法と工業会ホームページへの掲示方法について検討していること。

川村理事から、実際に出張して試験を行う試験監督者が大変だと感じている旨、述べられた。

嶋崎議長から、組合 HP のアクセス数の分析について質問があり、安室専務理事から、Google アナリティクスというサービスを利用して、HP へのアクセス数や内容がデータとして確認出来ることの説明があった。

嶋崎議長から、動画制作については、費用的に安くなって来ているが、シナリオや内容を詰めないと良いものができないと考えていると述べられた。

次に（一社）日本金属熱処理工業会の技術委員会委員長に南副理事長が就任されたことの報告に続いて、７月５日に開催された技術・品質合同委員会について議事録に基づき説明があった。主な内容については、①新体制について（技術委員会担当理事の設置、技術及び品質委員長の交代）、②初級熱処理塾講師反省会及び受講者アンケート結果について、③技能検定試験受験対策講習会の実施状況、④今後の活動計画（中級熱処理塾の受講申込状況、都立産技研センター業種別交流会のリアル開催、実践型熱処理塾の開催検討、ISO 内部監査員養成研修会のハイブリッド開催、ガス燃焼技術基礎研修会の検討、工場見学会の検討、第７回品質活動発表会の検討）、⑤（一社）日本金属熱処理工業会技術委員会について、⑥東京都の金属熱処理技能検定試験の状況

南副理事長から、（一社）日本金属熱処理工業会の技術委員長として積極的に取り組む旨述べられた。

横山理事及び田村理事から、学び直しをするために初級熱処理塾のスポット受講についての希望があるので検討して欲しいと意見があった。

嶋崎議長から、専門企業もあるので、学び直しも含めてスポット受講について検討する必要があるので、問題提起として今後検討して行きたいとと述べられた。

続いて安室専務理事から、７月７日にハイブリッド開催したマーケティング委員会について議事録に基づき説明があった。主な内容については、①新体制について（担当副理事長の変更）、②価格サポートセミナーについて（価格交渉に関わる成功事例や困っている点についてグループディスカッションを行う）、③購入品価格調査について（回収率６０％目標）、④市場動向に関する情報交換。

曽根副理事長から、久しぶりのリアル開催ということで、委員会終了後に懇親の場を設けて情報交換を行ったことの報告があった。

嶋崎議長から、市場動向にあるように自動車関係がまだ半導体不足の影響を受けていることが述べられた。

嶋崎議長は、委員会活動について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第９号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、元理事長の故大屋和雄氏のお別れの会の日程等（令和５年９月６日（水）１２：００～、帝国ホテル東京「富士の間」）について説明があった。

続いて第４２回日熱会（１０月１０日（火）、１１日（水）幹事：中部組合）の申込状況について報告があった。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

令和５年７月１９日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　曽根 光彰　㊞

出席理事　南　直樹　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　池田 隆久　㊞

〃　宗村 進之介　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　川崎 一郎　㊞

〃　富居 博治　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　秦　研二　㊞

〃　平井 英次　㊞

〃　川村 道夫　㊞

出席監事　熊木　宏　㊞

〃　近藤 恭二　㊞

〃　山口 直延　㊞